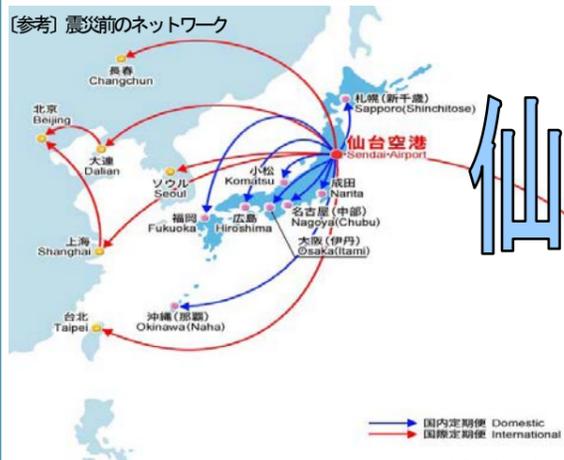


【参考】震災前のネットワーク



仙台空港復興だより

～仙台空港の復興までの歩みを振り返ります～

平成 24 年 4 月●●日発行(臨時増刊号)

東日本大震災により甚大な被害を受けた仙台空港ですが、多くの方々のご尽力とご支援のおかげで、現在では、東北の空の玄関口として、たくさんのお客様に利用されています。今回は、これまでのご支援とご協力に感謝を込めて、復興の1年間の歩みを振り返ります。

■平成 23 年 3 月 11 日:東日本大震災発生

大津波によるがれきが滑走路や旅客ターミナルビル1階に大量に流れ込み、電気室が被災するなどの大きな被害を受け、仙台空港は完全閉鎖されました。



▲がれきと土砂が堆積したロビー

■平成 23 年 3 月 14 日:応急復旧作業実施

自衛隊や米軍などによる車輛やがれき除去等の応急復旧作業が実施されました。この懸命な復旧作業により、16 日からは B 滑走路 1,500m の運用が開始され、仙台空港は救援物資の輸送拠点として運用されました。



▲米軍による車輛の撤去

■平成 23 年 4 月 13 日:国内線が一部再開

約 1 か月後、早くも国内線民航機(JAL・ANA)の運航が、一部再開され、当初は 1 日 6 往復されました。



▲4/13 民間機の運航再開

■平成 23 年 7 月 25 日:国内定期便再開

7 月 25 日には国内定期便が再開、国際臨時便が運航され、国内 8 都市及び海外とのネットワークが繋がり、国内定期便は路線・便数とも震災前と同じ水準にまで回復しました。また、同時にソウルやグアムへの国際臨時便が運航されました。



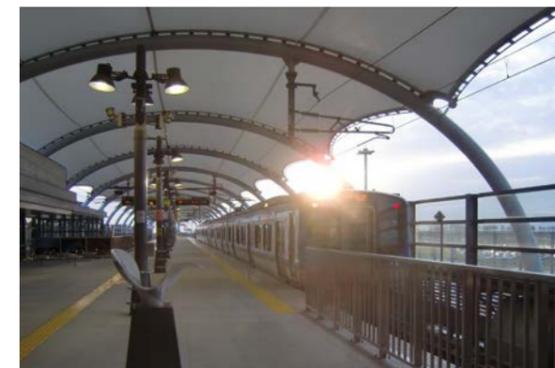
▲7/25 国内定期便・国際臨時便就航セレモニー

■平成 23 年 9 月 25 日:仙台空港ターミナルビル完全復旧・国際定期便再開!

9 月 25 日にはターミナルビルが完全復旧するとともに、国際定期便(仙台-ソウル線)が再開されました。当日の記念式典には多くの関係者が集まり、仙台空港は震災前の活気を取り戻しました。また、仙台空港アクセス鉄道も 10 月 1 日に全線で運行が再開され、国際定期便はソウル線に続いて、10 月 2 日にグアム線、10 月 30 日に台北線が再開されました。さらに、平成 24 年 3 月 25 日には仙台-上海-北京線が、同 27 日には仙台-大連-北京線が再開されました。



▲9/25 復旧した仙台空港ターミナルビル



▲10/1 始発到着(仙台空港)

■仙台空港の最新ニュース!

4 月 1 日(日):中国南方航空により、震災後、初となる仙台-長春線のチャーター便が運航されました。

4 月 2 日(月):仙台空港オンラインショップ「そらみやげ亭」がオープンしました。

詳しくは、公式HP <http://sendai.apshop.jp/> をご覧ください。

5 月 21 日(月):仙台-ソウル線がデイリー運航となり、ますます便利になります。

詳しくは、空港臨空地域課HP <http://www.pref.miyagi.jp/kurin/> をご覧ください。

お問い合わせ 宮城県土木部空港臨空地域課空港復興班 022-211-3228

